広報あいかわ
発行所
秋田県合川町役場
責任者（廣報係）杉淵佐一郎
（總務課 電話 4番・14番）
〔発行部数 2,600〕

被害総額 四千万円を超す

＝集中豪雨当町を襲う＝

十二日夕方から県北地方に襲来した集中豪雨は、各地に大きな被害をあたえたが、本町でも降りはじめから十三日午前八時までに一九四ミリ（大野台農場調べ）の雨量を記録、家屋浸水、田畑冠水、道路や溜の欠壊が続出、被害総額は四千万円を上回る巨額にのぼった。

ひどかった羽立 大内沢の被害

このため、町では十三日朝畠山町長陣頭指揮の被害調査班を編成、町内各地区の被害調査を行なったが、同日夕刻までの集計では実に四千万円以上というぼう大な被害額に達している。

農業関係は各地区とも田畑の浸水や冠水が多く、なかでも羽立、大内沢両部落の被害は大きく、道路は数カ所にわたって欠壊し、自転車以上の車両は通れず、人間がやっと通れるといった状況、また出穂したばかりのたんぼも広範な面積にわたって土砂にうずまり、目をおおうばかりの惨状を呈している。

被害は、田冠水百五十㌶、浸水二百七十九㌶、土砂流入埋没六㌶で、水稲だけでも推定される減収量は四百㌧（二千七百石、三千五百万円）と見込まれ、そのほか農業施設では水路埋没および流失二百二十㍍、農道欠壊百五十㍍、溜池の埋没欠壊六カ所など三百五十万円、計三千八百五十万円の被害。

土木関係では県道の欠壊二カ所をはじめ、町道十七カ所欠壊百七十三万円、橋梁破損三カ所二十五万円、堤防三カ所欠壊二十三万円など、二百二十一万円の被害。農業、土木関係のほかに家屋の浸水は、大内沢八戸李岱七戸をはじめ、八つの部落におよび、二十九戸が被害を受けたが、町では減水後の伝染病発生に備えて、これらの全戸を十三日中に完全消毒した。

また、もっとも被害の大きかった羽立、大内沢の両部落では、盆休みの行事を中止して部落民総出で道路の復旧につとめているほか役場でも企画建設、経済の両課は盆休みを返上、被害額の集計、復旧対策などにあたっている。

バスや汽車もとまる

十二日の集中豪雨で、十三日には町内の県道中、三木田～鎌沢間に約四㌶の土砂崩れがおき、秋北バスは合川駅～三木田間の折返し運転、また国鉄阿仁合線も合川～鷹巣間が不通となったが、汽車は午前十時過ぎバスは午後四時過ぎにそれぞれ運行を再開した。

森林軌道にも大きな被害

合川営林署の森林軌道は羽根山沢および雪田沢地内で大きな被害を受け、沿線十数カ所で土砂崩れがあったのをはじめ、橋梁や道床の流失三百㍍などに達し、復旧には二十日以上の日数を要する見込みで、木材の搬出に大きな支障を来たすものとみられている。

19議案を可決 7月定例町会おわる

町議会七月定例会は七月二十日招集され、会期を二十六日までの一週間ときめ当局より提出された十九議案を審議、最終日の二十六日全議案を各委員長報告どおり可決し散会した。

この定例会で可決された主なものは、合川中学校の体育館、特別教室の建築請負契約、駅前道路の舗装（アスファルト、延長百十㍍）などであった。

また阿仁合線の金沢地内に無人駅を設置することについても、施設負担は全額地元負担という条件で、国鉄東北支社をはじめ関係機関に強力な陳情をすることをきめたほか、昨年来本町と森吉両町で火葬場を建設しようとすることについても、これを推進することを申し合せた。

人事関係については、任期満了の固定資産評価審査委員に佐藤甚太郎（木戸石）監査委員に奈良愛之助（増沢）の両氏がそれぞれ再選された。

会長に斎藤氏

農業委員会

斎藤氏

改選後初の町農業委員会総会は、去る七月二十九日午前九時から役場会議室において全委員が出席して開かれ、会長に斎藤孝蔵、会長職務代理に小田信一、秋田県農業会議員に伊東七郎兵衛の各氏をそれぞれ選出した。

百ヘクタールの面積確保を

葉たばこの栽培

町ではさきほど専売公社東北支社（仙台市）と秋田支局に対して「大野台地域を中心に百㌶の葉たばこ栽培面積の確保」を陳情、わが町を県北地方の葉たばこ主産地とする方針を打ち出した。これは現在栽培されているバーレー種の増反面積が阿仁部で六十㌶に達すると打切るという公社に対して善処を望むためのもので町としては大野台を中心に集団栽培、大面積栽培を指導し、最近それが軌道に乗り出したことでもあり、この実現によって稲プラス葉たばこの経営ができ、農家収入の増加もはかられるところから、栽培農家も年々ふえ、この増反面積確保に大きな期待を寄せている。

◉夏の健康を守りましょう

ちょっとした油断から、おそろしい病気にかかりやすい時期です。特に伝染病に気をつけましょう

◎下痢、腹痛、熱があったらすぐ医者へ

◎ごはんの前、おやつの前にはきれいに手を洗いましょう。

四百万円の水上げ予想

順調な養鯉事業

去る四月中旬に共同の養鯉（鯉）事業として始められた合川養鯉生産組合（金田英知組合長）の三木田関ノ沢溜池のコイは、放流以来四カ月を過ぎたがその後の成育も順調で、今では平均二十五㌢ぐらい（最高三十五㌢）にものび、秋の収穫に大きな期待がもたれている。

放流以来つきっ切りでこの組合の事業を指導してきた県水産課の橋本技師も、「この分だと成功まちがいなし」とタイコ判をおしており、組合員たちも毎日のように溜池を訪れては夕日に銀りんをひらめかせる鯉をながめながら「秋には一万五千㌔（四百万円）以上の水あげだ」と張り切っている。

県北初の農業法人組合

＝上杉の工藤さんらが結成＝

上杉部落の工藤力松さんら十七人は、さきごろ〝農事組合法人上杉共栄組合〟を結成、各方面からその成果について大きな期待が寄せられている。

これは、生産性の向上をはかるため農業を共同化したもので、秋田県でもまだ数が少なく、県北地方ではもちろん第一号とのことである。

組合員一戸平均の経営規模は、同部落の平均よりやや少ない田八十㌃（八反歩）で、出資金は一口千円であるが、組合員の資格としては、ニワトリ二十羽、ブタ二頭以上を飼い、耕地は十㌃以上ある部落内の農民であることと規定されている。

また、さきごろ開いた会合で、ことしの事業計画などをきめたが、それによるとまず労働力の合理的配分に重点をおき、田植え、病害虫防除、稲刈りなどをすべて共同化してやろうということになっている。

この共同化によって、いままでバラバラであった零細農家を団結させ、共同利用施設建設の融資をはかるほか、近い将来には乳牛やブタなども相当数導入して畜産にも力を入れ、農家所得の倍増をねらいとしている。

なお、同組合の主なる構成メンバーは次のとおり。

組合長　工藤　力松
理事　松橋　与作
同　工藤順一郎
同　工藤　吉造
同　工藤　孝二
監事　工藤　正三

模擬町会など開く

青年婦人の一夜講習

第九回合川町青年婦人一夜講習会は、町内から多数の青年会員および婦人会員が参加して去る十七十八の両日南小学校で開かれた。

この一夜講習会は町村合併以来年一回ずつ町内各地区持ち回りで開いてきたもので、公民館、連合青年会、婦人会が共催し、将来農村生活、農業の実態などについて個人としてのあり方、団体のあり方を究明するという集会で、年々大きな効果をあげてきており、ことしは「社会の動きと農村の生活」秋田大学教授加藤一男氏「青年会の現状と将来」県連青会長田口清克氏の講演が行なわれた。

また、あらたな試みとして模擬町議会を開き、青年と婦人から選ばれた二十六名の議員による町議会そのままの熱心な討議も行なわれ関心を呼んだ。

分科会は全員を三つの分科に配置し、①正しい男女交際のあり方②これからの農家生活③家庭における人間関係などについて話し合いがなされたほか、レクリエーションとしてフォークダンス、歌唱指導、キャンプファイヤーなども催され有意義な二日間の日程を終った。

合川四分団は三位

消防規律訓練

全県消防団規律訓練大会大館市北秋田地区予選は、八日午前九時から鷹巣農林高校グランドに郡内三ブロック予選を通過した鷹巣町消防団栄地区隊第一分団、比内町消防団第二分団、合川町消防団第四分団の三代表が参加して行なわれたが本町第四分団はわずかの差で第三にとどまり、県大会への出場権を逸した。

当日の成績は次のとおりであったが、優勝した栄第一団は来る二十八日秋田市で開かれる全県大会に郡市代表として参加する。

①栄第一分団
②比内第二分団
③合川第四分団

◇食中毒を防ごう…◇

例年八月から九月にかけては食品による食中毒とくに魚介類による食中毒が最高に達し、その中毒事件も多く発生する時期といわれております。

そこでいま全国いっせいに「夏季食品一斉取り締まり」運動が展開されておりますが、国や県では食品の取り扱いと施設の監視を強化して適切な措置をとるとともに、私たち消費者にもこれらの食品の衛生について大きな関心を持ち、食中毒などにかからぬようにと呼びかけております。

みんなが注意して明るい健康な生活を送るようにいたしましょう。

ドブロクは
母さん造るな
父さん飲むな

ありがとう

町出身の次の方々から、このほど「広報の郵送料に」と郵便切手をいただきました。紙上を通じて厚くお礼申し上げます。

（到着順、敬称略）

◇一五〇円
仙北郡六郷町　秋田相互銀行六郷支店内　加藤　鉄雄

◇一二〇円
大阪府枚方市禁野四九一ノ三　成田　速男

◇一四〇円
東京都太田区下丸子町一三九　山田竹郎方　斎藤　敬子

◇一二〇円
東京都杉並区大宮前二ノ七〇〇　桜田　権七

◇一二〇円
山梨県中巨摩郡敷島町大下条一、六七一ノ一　今泉　ユキ

◇一、〇〇〇円
大阪市大正区泉尾梅之町五ノ七　秋木泉尾寮内　木村　安宏

◇一二〇円
郡山市希望ケ丘西町一四八　柴田　米松

◇一二〇円
秋田市　秋田県庁農地開拓課　工藤千代松

◇二〇〇円
秋田市　秋田大学学芸学部　工藤　綏夫

◇二〇〇円
秋田市寺内鳥屋場五の一七　津谷　せつ

◇一、〇〇〇円
能代市畠町追分　高階　梅子

◇三〇〇円
横須賀市三春町五ノ六一　杉淵三之助

町職員の異動

（カッコ内は前任）

山岡一男（中学校用務員）
雇を命ずる

教育委員会勤務を命ずる
主事　畠山卯一郎（教育委員会）

町長事務部局へ出向を命ずる
財政課勤務を命ずる
（八月十五日付）

39年用
◇県民手帳予約募集中◇
昭和39年用（秋田県民手帳）の予約を受付け中です。希望の方はお申し込み下さい。
◉1冊100円，堅ろうでスマートなビニールシート装てい（名刺入，定期券入付）
◉主な内容
県行政区画図，七曜表，略暦，年齢早見表，行事予定表，日記，統計資料，名簿，便覧（中央官庁一覧，メートル法換算表，鉄道運賃，郵便，電報料金，県庁案内，その他）
◉申込先＝役場総務課統計係

広報は、家族みんなで読みましょう

少年団体リーダー講習盛会りにおわる

町と青少年問題協議会では、去る三日、四日の両日にわたり西小学校を会場に昭和三十八年度少年団体リーダー養成講習会を開催、町内各部落から参加した少年少女たちに多大の感めいを与え、盛況のうちに二日間の講習会の幕を閉じた。

八十名熱心に受講

この講習会に参加した少年少女たちは、町内の小中学校から推せんされた小学校五年から中学二年までの八十名、米や毛布その他を肩に炎天下を続々と会場に集合し、一コ班十六人の五コ班に編成され班長、副班長などを互選したのち講習に入り〝団体活動の意義〟（湊荒男氏）、〝団体活動を進めるために〟（佐林幸吉氏）の講演をはじめ、合川中斎藤礼子教諭の歌の指導やゲームに興じ、夕食後は北小学校藤岡教頭の指導でキャンプファイヤーを囲んでのレクリエーションなど数々の楽しい行事を過して午後十時ごろ第一日を終り二日目は班ごとに別れての研究「団体活動を楽しくするプランを樹てよう」をテーマに一時間半、レクリエーションの実技二時間、全体会議などを行ない、閉講式は来賓から激励のことばが途べられ全員に修了証書が贈られて有意義な二日間の講習を終り、午後四時過ぎそれぞれの部落に散っていったが、この講習会は今後も毎年開催されることになっており、少年団体の健全な育成のために各父兄からも好評をはくしている。

【熱心に講習を受ける少年少女たち】

合川中緒戦で敗退

＝全県中学校野球大会＝

第二十九回全県中学校野球大会は、八日から十一日までの四日間炎天下の秋田市八橋球場に熱戦が展開され、わが合川中学校も大館北秋田第二区代表として出場、大会二日目の一回戦第二試合で横手第一中学校と対戦したが、投手の立ち上り不調から前半に献じた失点をはね返せず、善戦も空しく敗退した

合川	1	0	0	0	2	0	0	0	3
横手	3	2	0	0	0	2	0	X	7

	合川	横手
打数	25	20
安打	2	6
振三	1	2
球四	3	9
策失	0	1

【試合評】

初回合川中は、成田が無死四球で出塁、工藤の投手強襲安打で二進、そのあと成田（司）の遊撃内野安打で生還し先制点をあげた。

ところが、その裏、大沢投手は第一球を横手の当り屋山内に中堅オーバーの大三塁打され、山内は暴走して三塁で憤死したものの、この一撃で動揺したのか、大沢は、まったくコントロールを失ない、続けざまに四つも四球を出し、さらにヒットも重なって一気に三点を献じ、逆転されてしまった。

二回裏にも一四球と二安打で二点をとられ五対一とリードされた。

しかし合川中も五回、一死から工藤の内野安打を足場に吉田の中堅越三塁打で二点と、その差二点に迫ったが、後続打者に安打なく迎えた六回の裏、横手は四球や山内の二本目の三塁打などでダメ押しの二点を追加されて万事窮し、結局七対三で涙をのんだ。

なお、横手一中は日新、山田を破り、決勝戦で角館中学と対戦してこれを破って初優勝している。【杉】

戦争未亡人に給付金

＝八月から申請受付中＝

戦没者などの妻に「特別給付金」が支給されることになり、全国の市町村では八月からこの申請を受付けしている。

この給付金は、さきの通常国会で成立した「戦没者等の妻に対する特別給付金支給法」に基づくもので、戦争未亡人の生活を助けるために、国が今後十年間に二十万円を支給しようというもの。

給付金を受ける資格のある者は、昭和十二年七月七日（日支事変）以後に戦傷病死した軍人、軍属、準軍属の妻で、現在これによって公務扶助料、遺族年金などを受ける権利をもっていることとなっているが、ことし四月一日前に死亡したり国籍を失ない、または婚姻などで扶助料や年金などの受給権を失なっていると該当しない。

該当する者が役場に申請すると、だいたい二カ月ぐらいの間に二十万円の無利子十年償還の「特別給付金国庫債券」（記名のもの）が渡され、第一回分として、ことしの十月三十一日に一万円が支払われ、その後毎年二万円ずつ（四月と十月）と最後の年にまた一万円、合計二十万円が支給されるわけである。

なお、請求の手続方法は現在もらっている扶助料や年金の証書（または保管証）に印鑑、戸籍抄本、住民票謄本各一通を添えて役場町民課の窓口に出すようにとのことである。

【写真＝川井地内でのヘリコプターによる散布】

ヘリで病害防除

東地区全水田に

期待される成果

本町におけるヘリコプターからの農薬散布は去る二～三の両日にわたり、ヘリコプター二機を利用して行なわれたことしの稲作は、七月以来葉イモチ病が猛発生、八月の晴天続きでいくぶん好転したというものの、かなりの被害になりそう。

ヘリコプターからの農薬散布は、これを防除するためにはじめられたものだが、本町では、ことしは東地区の全水田約二百九十㌶に、延百人の労力を動員、四百六十袋約九千二百㌔の水銀粉剤が散布され、その成果が期待されている。

本町代表がんばる

全県青年体育大会

第十七回全県青年体育大会は、去る十、十一の両日秋田市県営八橋競技場で開かれ、本町からも十七名の男女選手が参加したが、女子走巾とびに出場した工藤英子さん（上杉）がみごと優勝したのをはじめ他の四種目にも入賞した。

町関係の成績は次のとおり。

◇男子百㍍

②鈴木民夫（福田）11秒4

【大会新記録】

◇男子四百㍍リレー

④合川町（奈良、疋田、三浦、鈴木）

◇女子走巾とび

①工藤英子（上杉）3㍍98

なお、工藤さんは十一月東京で開かれる全国大会に県代表選手として出場することになった。

◇女子百㍍

⑤桜田ミヱ子（木戸石）

◇女子四百㍍リレー

⑤合川町（小田、松橋、工藤、桜田）

「タイヤや反物など」

―町内落し物の数々―

「あなたは次の落し物に心当りありませんか？」次にあるのはことし四月から七月までの間に町内の各地で拾われて警察に保管されている落し物の教々です。

「落してしまったものはもう出ないだろう……」などと簡単にあきらめないで心当りの方はどうぞ近くの駐在所まで申し出て下さい

◇四月十一日

帽子一個＝下杉

◇四月十二日

現金二千＝西根田

◇四月十八日

雨傘一本＝三木田

◇四月二十七日

現金百円＝李岱

◇四月二十八日

反物＝八幡岱

◇五月八日

現金三百円＝下杉

◇五月二十三日

山笠一個＝下杉

◇五月二十四日

現金二百円＝鎌沢

◇六月十日

現金千五百円＝道城

◇六月十二日

財布（千三百八十九円在中）＝駅前

◇六月十九日

カバン一個＝川井

◇六月二十三日

自動車用タイヤ＝川井

懐中時計一個＝三里

◇六月二十八日

腕時計一個＝摩当

◇七月十一日

印鑑、ケース＝新田目

八～十月の長期天候予報

気温　八月は、月平均で平年並みか、やや低目、とくに中旬後半と月末ごろを中心にして低温の期間があらわれそうである。

九月は、中旬はおおむね高目だが、上、下旬になると低目の日が多く、月平均では平年並みか、やや低くなる。

十月は、冷え込みの強い日はあるが、月平均ではやや高い見込み。

降水量　八月は総量としては平年並みくらいだが中旬後半と下旬後半はくずれやすい。台風は二回ほど本土に影響し、中旬～下旬にかけて上陸するかも知れない。

九月、総量は平年並みか少な目だが、上旬と下旬は曇りや雨の日が多い見込み。なお、月の後半に台風の襲来する傾向がある。

十月は、天気は周期的に変り、平年にくらべて晴れの日が多い見込みなので、月の総量としては少な目の見込み。

【鷹巣気象通報所発表】

農事メモ

飼料の与え方に注意

＝夏の家畜管理＝

家畜は高温多湿の夏季がいちばん苦手で、カやハエが発生する時期でもあり、これがもとで発病したり、生産が低下したり、発育が阻害されたりする。畜舎の内外は清潔にして、よい生活環境を与えてやるようにすることがたいせつである

～乳牛～

この時期になると飼料作物も栄養価が低下してくるので、家畜の好みを考えてできるだけ多種類の草を与えるようにすること。

またこの時期は分娩の事故も起りやすく、発情も弱まるので夜間や早朝時にはとくによく畜体を見て発情を見逃さぬように注意すること。

～豚～

母豚は秋仔の妊娠中だから飼養管理には十分注意し排せつ物などはカやサシバエなどの発生源になるから一定のところに処理し、舎内を清潔にし、給与飼料は腐敗しないよう注意のこと

～にわとり～

暑さのために餌の量がへってくるので、よい餌を与え、とくにビタミン類が不足しないよう注意する。

この頃になると産みづかれや、フルケするものが出てくるので、このようなにわとりは病鶏といっしょに処分することが必要であり育成中のものはできるだけ薄飼しないと、たいせつな中びな期や大びな期によいヒナとして育てあげることが期待できないから注意すること。

慶弔だより

自三八、七、一　至三八、七、三一

出生（七）

◇おめでとう。ご健康をお祈りいたします

柴田伸一、与助孫、八幡岱
藤島陽子、秀雄二女、駅前
佐藤勝、長太郎孫、川井
畠山直子、忠三孫、木戸石
佐藤泰人、七助孫、川井
小笠原敦子、喜一郎孫美栄
鈴木正利、利助孫、鎌沢

死亡（三）

◇謹んでおくやみを申し上げます

杉淵直治郎、本人、増沢
吉田勇吉、本人、川井
福岡友吉、本人、三里

婚姻（二）

◇おめでとう。この慶をいつまでも……

疋田長一　上杉
出川イマ　鷹巣町
金沢富太　大館市
沢藤イッ　木戸石
疋田幹雄　鷹巣町
藤岡修二　上杉
阿部真佐子　羽立
戸沢民雄　天童市
桜井和子　鷹巣町
池端良雄　下杉
菊地イマ　二ッ井町
中島易雄　羽根山
奥山タミ　新田目
戸沢吉郎　森吉町
武石和子　鷹巣町
畑尾昌三　駅前
成田いつ子　高松市
近藤隆成　李岱
斎藤容子　新居浜市
加藤勲　新田目
佐々木孝子　東京都
金沢正男　木戸石
沼田てる　川井
武石忠治　高萩市
佐藤隆子　上小阿仁
佐藤幸一郎　駅前
菊地フキ　川井
広土洋子　阿仁町
泉成田　東京都
三浦蔵治　李岱
平川マサ　森吉町
竹雄キナ　李岱
野口　茨城県
鈴木鎌沢　東根田
加藤条治　青森県
丹下妙子　三里
福岡勇　南外村
今野久子　摩当
金田貞蔵　森吉町
松浦正　摩当
金田三平　上小阿仁
伊藤ツヱ

あとがき

◇暑中お見舞申し上げます

暦の上ではすでに秋とはいうものの、まだまだ暑さは続きそうです。

◇海へ山へと涼を求めて人々は出て行きますが、往復の車内の人いきれで涼どころか、ガマン会そのものの むし暑さ。

◇こうなれば、昔の人が、〝よくぞ男に生まれける云々……〟とうたったようにハダカで家の軒に出て涼むのがいちばんの涼しさかも知れません。それに経費はタダですから……。

◇二月と八月は昔から商売も不振の月といわれますがこの月はまた暑気、食中毒などのアタリ月でもあります。

（S）